

資料 6-1 (共通)	平成 27 年 3 月 19 日 (木)
障害福祉サービス等に係る事業者説明会	
保健福祉局高齢障害部障害企画課	

## 過誤請求事務について

請求に誤りがあった場合、本市へ過誤申立書(資料6-2)を提出することにより、請求を取り下げることができます。なお、提出期限は**毎月25日**(閉庁日である場合は直後の開庁日)となっております。

- ① 25日までに提出された分は、国保連において翌月請求分と相殺処理されます。
- ② 26日以降に提出された分については、翌々月請求分と相殺処理されます。

(例)①

~3/25	過誤申立書提出	▲ 30 万円
4/10	4 月受付分の請求	100 万円
5/15	4 月受付分の支払	70 万円

→5月の国保連からの支払額が減少することになります。

②

3/26~4/25	過誤申立書提出	▲20 万円
5/10	5 月受付分の請求	100 万円
6/15	5 月受付分の支払	80 万円

→6月の国保連からの支払額が減少することになります。

(注)

~3/25	過誤申立書提出	▲150 万円
4/10	4 月受付分の請求	100 万円
5/15	4 月受付分の支払	100 万円

※▲50万円、相殺処理不可  
→実際支払100万円

→過誤申立による返還額が各月の支払額を超える場合、相殺処理ができません。

分割して過誤調整する必要があります。

※過誤申立に伴い再請求が必要なる場合であっても、千葉市からは連絡しませんので各事業所において適切に処理くださるよう、お願い致します。